



いよいよ開館！

西ノ島町コミュニティ図書館「いかあ屋」

暮らしとコミュニティを支える

教育・文化の交流拠点施設へ

西ノ島町コミュニティ図書館「いかあ屋」とは

7月21日(土)に、西ノ島町コミュニティ図書館が開館します。愛称は「いかあ屋」です。これは「行こうよ」の意味と「屋号」を組み合わせた愛称で、大阪在住のデザイナー・真野悠さん(浦郷出身)がデザインした中から、町民の皆さんの投票によって決定しました。「いかあ屋に、いかあや(行こうよ)」と、誰でも呼びやすく、西ノ島らしい愛称となりました。町のこれからの教育・文化の交流拠点施設として、日々の暮らしやコミュニティの活動を支えていきます。

【ご利用案内】

- 開館時間…午前10時～午後7時
- 休館日…水曜日・年末年始
- 貸出冊数…1人10冊まで
- 貸出期間…2週間



西ノ島の暮らしを支える図書館

西ノ島での生活や仕事、趣味、娯楽、学びに役立つ情報をわかりやすく展示していきます。また、観光客の方や初めて訪れる方にも、西ノ島の歴史や伝統をより深く知ってもらえるようなギャラリー展示も行います。



▲ 開架書架



▲ つながりギャラリー

お気に入りの場所を見つけられる空間づくり

おしゃべりや飲食が可能な場所から、掘りごたつでくつろげる場所、静かに読書や作業ができる場所など、図書館の中に様々な部屋があります。自分が過ごしたい方法で、ぜひお気に入りの場所を見つけてください。



▲ 縁側カフェ



▲ 書斎

子どもたちの居場所づくり

赤ちゃんから小・中学生、高校生まで、それぞれの年代が過ごしやすい居場所としました。「こどものへや」は、子ども向けトイレや授乳室を設置し、乳幼児と保護者の方がゆっくり滞在できる場所です。

「みらいのへや」は、主に10代の中高校生向けの本や漫画・雑誌が並ぶ、ひな壇状の書架が特徴です。壁面には郷土資料や地域資料の他に、西ノ島の伝統文化や産業に関わる「人」の情報を並べ、西ノ島町の歴史に自然と触れられる空間を作っています。



▲ こどものへや



▲ 授乳室



▲ みらいのへや



▲ こどもトイレ

体験や交流を支える場づくり

グループでの学習や体験ワークショップ、料理教室、3Dプリンター教室など、さまざまな体験と交流ができる場所です。予約が必要ですが、どなたでもご利用になれます。



▲ つどいのへや



▲ 縁側キッチン

開館記念イベント「いかあ屋祭」情報

7月21日(土)・22日(日)に開館記念イベントを開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

西ノ島町コミュニティ図書館
開館します！
2018年7月21日(土)・22日(日)
開館記念イベント開催

7月21日(土)の主なイベント
14:00~15:00 テアトリット、餅まき、じょんじょん太鼓
15:00~16:00 読書イベント
ゲスト：嶋田孝氏(瀬戸内市図書館館長)
16:30~17:30 絵本読み会【絵本コーナー】
★イベント中はマルシシも開催しています

7月22日(日)の主なイベント
10:30~12:00 読書イベント(読書高校生)
13:30~14:30 縁側カフェスペシャルエディション
15:00~17:00(予約) わがごと茶屋
16:00~18:00 体験コーナー
★イベント中はマルシシも開催しています

募集中！
イベントの準備や運営を
手伝ってくれる方を
募集しています！
連絡先：08514-6-0171
(西ノ島町立中央公民館)

西ノ島町コミュニティ図書館 〒164-0211 島根県松江市西ノ島町渡船67-8